

石垣市嵩田「嵩田公民館」

集落
部門

ワールドゆんたくでふるさとづくり (平成19年度認定)



石垣島のバナ岳の麓に位置する嵩田地域は、台湾からの入植に始まる地域であり、現在でも、台湾、宮古、沖縄本島、本土からの入植者が多くを占める合衆地域である。台湾から初めてパインの苗が導入された八重山パイン発祥の地でもあり、現在では3つの果樹生産組合が設立され、パインやマンゴー、アセロラなどを栽培しており、八重山の熱帯果樹先進地としての役割を担っている。

「世界に目を向けて話そう」という趣旨のもと平成2年から始めた「ワールドゆんたく会」は、毎月第4火曜日、12世帯が参加し、土地改良事業についての勉強会やゴミ焼却炉問題、記念誌の発行などについて話し合い、手料理を持ち寄り懇親を深めている。美化活動の一環として、年4回、集落清掃や沿道雑木除去、農道のり面への花の植栽、これらの花の苗を育苗するためのハウスづくりなどを協力して実施し、良好な集落景観の保全に努めており、農業生産から地域コミュニティの活性化にむけた活動など、幅広く取り組んでいる。

